

章項	ページ	新（素案Ver.2）	旧（素案Ver.1）	備考
第1章3（2）	4	第2期計画においては、「周南市母子保健計画」及び「新・放課後子ども総合プラン周南市行動計画」についても、一体的に策定する計画として包含していました。 本計画においては、両計画ともに根拠となる策定指針や計画名称等の変更、新たな通知の発出などの国の方針を加味し、一体的に策定する計画として明記していませんが、引き続き、両計画で推進されてきた諸施策を本計画上に展開し、実施してまいります。		「母子保健計画」および「放課後子どもプラン」を一体的に策定する計画に含めていない経緯説明を追加
第2章2	11～31	グラフの体裁の修正		
第2章2（1）	11	令和6年1月に市内の小学5・6年生、中学1・2年生の児童・生徒	令和6年1月に市内の小学5年生、中学2年生の児童・生徒	調査対象の学年の修正
第2章2（1）④	12	「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で利用したい」	「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で利用したい」	「こども」表記を、調査設問の選択肢に合わせて「子ども」に訂正
第2章2（1）⑥	13	【育児休業を取得していない理由（母親）】のグラフを削除		
第2章2（1）⑥	21	【小学5・6年生及び中学1・2年生】	【小学5年生及び中学2年生】	調査対象の学年の修正
第2章2（1）③	23	「③周南市は生活しやすいまちだと思うか」のグラフの追加		
	25	世帯状況のグラフの追加		
第2章2（2）	25	等価世帯収入グラフの追加		
第2章2（2）④	27	ひとり親世帯母子世帯のみで72.6%、ひとり親世帯全体で72.4%と低く、	ひとり親世帯母子世帯のみで72.6%、全体で72.4%と低く、	追加
第2章2（2）⑤⑥	28	「高等学校まで」との回答は等価世帯収入の水準が低いほど高く、またひとり親世帯で高くなっています。「大学またはそれ以上」との回答は等価世帯収入の水準が高いほど高く、またふたり親世帯で高くなっています。	等価世帯収入の水準別にみると、「高等学校まで」との回答は等価世帯収入の水準が低いほど高く、「大学またはそれ以上」との回答は等価世帯収入の水準が高いほど高くなっています。世帯の状況別にみると、「高等学校まで」との回答はひとり親世帯で高く、「大学またはそれ以上」との回答はふたり親世帯で高くなっています。	説明を短縮
第2章2（2）⑤⑥	28	削除	等価世帯収入の水準別にみると、「高等学校まで」との回答は等価世帯収入の水準が低いほど高く、「大学またはそれ以上」との回答は等価世帯収入の水準が高いほど高くなっています。世帯の状況別にみると、「高等学校まで」との回答はひとり親世帯で高く、「大学またはそれ以上」との回答はふたり親世帯で高くなっています。	
第4章基本目標Ⅰ3③	50	国が提唱する「学びのDX」の実現に向けて	学びのDXの実現に向けて	表現の修正
第4章基本目標Ⅰ4	53	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うこどもの割合	地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えるこどもの割合	表現の修正
第4章基本目標Ⅱ2	55	乳幼児と保護者の交流や、育児相談会、子育て講座等を行う子育て支援センターや、子育て家庭と子育てを手助けしたい方との橋渡しを行うファミリーサポートセンターの活動等を通じて、保護者の育児負担の軽減を図り、子育てに伴う喜びを実感しながら安心して子育てできる環境づくりに努めます。	乳幼児と保護者の交流の機会の創出や、育児相談会、子育て講座の開催等を行う子育て支援センターや、育児を応援してほしい家庭と育児を手助けしたい方との橋渡しを行うファミリーサポートセンターの活動等を通じて、保護者の育児負担の軽減を図り、子育てに伴う喜びを実感できるよう、社会全体で支え合う機運を高めます。	変更
第4章基本目標Ⅱ2	55	幼児期における教育・保育は人格形成の基礎を培うのに重要なものであることから、幼児教育・保育の質の向上を図るとともに、特別な配慮を必要とする子どもを含め、安全・安心な環境の中で、こどもの健やかな成長を支えます。 全てのこどもが家庭の経済状況にかかわらず、必要な教育・保育を受けることができ、主体性・社会性を身に付けながら成長できるように、今後も各種手当等の給付を行うとともに、給付時の相談にきめ細かく対応し、必要に応じて関係機関と連携した支援を行います。	人格形成の基礎を培うのに重要な幼児教育・保育の質の向上を図るとともに、特別な配慮を必要とする子どもを含め、安全・安心な環境の中で、こどもの健やかな成長を支えます。全てのこどもが家庭の経済状況にかかわらず、必要な教育・保育を受けることができ、主体性・社会性を身に付けながら成長できるように、今後も各種手当等の給付を行うとともに、給付時の相談にきめ細かく対応し、必要に応じて関係機関と連携した支援を行います。	表現の修正 段落の修正
第4章基本目標Ⅱ3（1）①	56	妊娠期から子育て期にわたり、	産前産後から子育て期にわたり、	表現の統一
第4章基本目標Ⅱ3（2）	57	妊娠期から子育て期における	産前産後から育児期における	表現の統一
第4章基本目標Ⅱ3（2）	57	妊娠期から子育て期にわたり、	妊娠・出産、子育て期にわたり、	表現の統一
第4章基本目標Ⅲ1（2）	60	各種手当等の手続きにあわせて、母子・父子自立支援員及び就業支援専門員が各関係機関と連携しながらひとり親家庭からの相談支援にあたっています。	各種手当や給付金の支給と同時に、母子・父子自立支援員及び就業支援専門員が各関係機関と連携しながらひとり親家庭からの相談支援にあたっています。	表現の修正
第4章基本目標Ⅲ1（3）	60	特別な支援や介助を必要とする児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じたきめ細かな指導・支援を実施するため、生活指導員や介助員を適宜配置しています。	特別な支援や介助を必要とする児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じたきめ細かな指導・支援を実施するため、各学校に生活指導員や介助員を適宜配置しています。	削除
第4章基本目標Ⅲ3（2）	62	各種手当等の手続きにあわせて、ひとり親家庭からの相談にきめ細かく対応し、必要に応じてハローワークや山口県母子家庭等就業・自立支援センター等と連携した支援を継続します。	各種手当等の支給を行うと同時に、ひとり親家庭からの相談にきめ細かく対応し、必要に応じてハローワークや山口県母子家庭等就業・自立支援センター等と連携した支援を継続します。	表現の修正
第4章基本目標Ⅲ3（4）②	63～64	課題のあるこどもと家庭への迅速かつ適切な支援を行うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが連携し、専門相談・支援を行います。	課題のあるこどもと家庭への迅速かつ適切な支援を行うため、各学校に配置しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが連携し、専門相談・支援を行います。	削除